

週間感染症情報

2020年26-27週 2020年6月22日より2020年7月5日まで

26週 27週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	4	2
手足口病		
ヘルパンギーナ		1
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	14	17
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	4	6
伝染性膿痂疹(とびひ)	2	6
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

左下のグラフの様に感染症の報告は少ない状況が続いています。しかし、風邪で受診する症例は増えてきています。右下のグラフは、教育委員会からの出席停止者の報告数です。26週から27週にかけて増加しているのは、総社幼稚園 総社小学校での、咳・鼻汁・発熱など感冒症状の報告が多いからです。

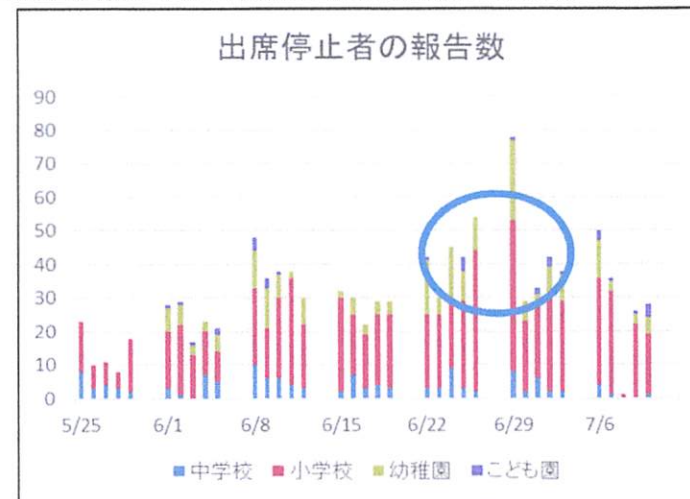
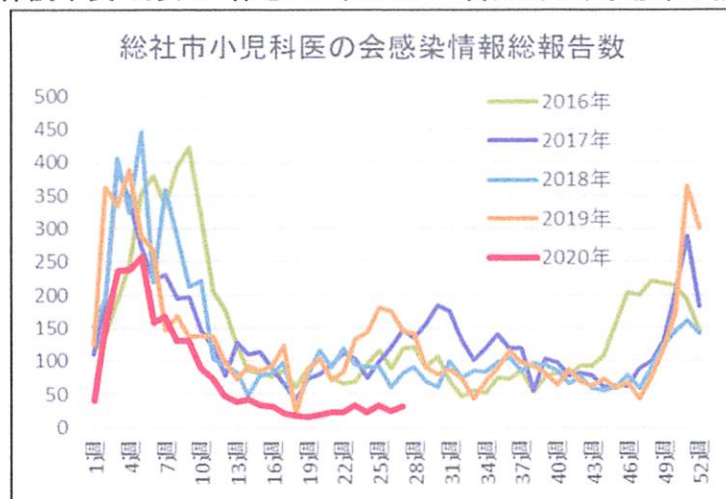
手足口病やヘルパンギーナの報告はほとんどありませんが、発熱のみや発疹を伴う発熱など、エンテロウイルスによると思われる疾患(いわゆる夏かぜ)の小流行を認める施設もあります。

感染性胃腸炎は、焼き肉関連のカンピロバクター腸炎が3例(中学2年 15歳 5歳)ありました。

ミドリガメを触った小学2年生がサルモネラ07が陽性でした。動物に触れた後は、しっかり手を洗いましょう。

新型コロナウイルス感染症の報告数が、東京・大阪など大都市圏で増加しています。劇場で大規模なクラスターが発生しました。症状があったのに抗体検査で陰性だったからコロナではないと考えて出演し続けたようです。抗体検査やPCR検査は、(インフルエンザ迅速検査も同様ですが)陰性だったからと言って、感染していない事を証明することはできません。

体調不良であれば休むということが一番大切です。感染予防のためには、体調不良であれば休める環境づくりが必要です。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子